

令和7年度東海村障がい者総合支援協議会 第3回専門部会（安心部会）会議録

開催日時	令和7年10月28日（火）午後1時33分～午後2時55分
場所	東海村総合福祉センター「絆」多目的ホール
出席者	坂下部会長、富田副部会長、有賀会長、有阪副会長、恩智委員、土屋委員、照沼委員、宇都宮委員
欠席者	
次第	<p>1 開会</p> <p>2 副部会長あいさつ</p> <p>3 議事</p> <p>（1）協議テーマの選定</p> <p>（2）協議テーマに係る質疑応答</p> <p>4 今後の予定</p> <p>（1）安心部会：第4回 令和7年12月9日（火）午後1時30分 ボランティア室2</p> <p>5 閉会</p>
議事	<p>（1）協議テーマの選定</p> <p>*行頭記号：●⇒委員、○⇒事務局</p> <p>○協議テーマの選定、内容の具体化を進めていきたい。</p> <p>●個別避難計画書の作成を行い、避難訓練を実施することで障がいのある方への配慮などを具体化することができると考える。</p> <p>●避難行動要支援者の対象者の選定や登録方法の検討が必要だと感じた。高齢分野と同様に、安否確認と合わせて対象を広げながら個別避難計画の作成を行う方法はどうか。</p> <p>●行政主導で、実践可能なレベルの提案をしてほしい。</p> <p>○皆様から、様々な意見をいただきながら、個別避難計画のあり方を検討していきたいと考えている。</p> <p>○対象者の選定方法は高齢分野を参考にする方法もあるが、障がい者は、求められるニーズが個別化しており、個別避難計画の内容は多様化している。また、本人や家族には個人情報を他者に知られたくないという思いがあり、避難行動要支援者の登録に繋がらない状況がある。</p> <p>○必要な方に個別避難計画の作成ができるような方法を検討していく必要があると考えている。</p> <p>●事前に登録することで対象者の情報が事前に分かるが、有事の際には登録していない方の対応や受け入れ準備をしなければならないのでは？</p> <p>●想定外の事案も念頭に入れた個別避難計画の見直しが必要だと思う。</p> <p>●障害福祉サービスの利用者を対象に、避難先を認識しているかを確認しながら、当事者と一緒に避難先や方法について考えていくことが重要だと思う。</p> <p>●行政主導ではなく、当事者や支援者の方に主体的に考えてもらうことが重要だと思う。</p> <p>●障がい者は、障がいの種類により課題やサポートが必要な項目が多岐にわたり、近隣住民との関わりも少ないと感じている。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ●今後は老障世帯も視野に入れた対応方法を検討しなければならないと考えている。 ●個別避難計画の見直しと合わせて、福祉避難所の運営マニュアルを作成することで、第2回安心部会で協議した4つのテーマについても網羅できると考える。 ●既存の手帳以外に、常時所持できるツールを作成し、部会で形に残るものを作成したいと考える。 ○個別避難計画に掲載される内容について検討を進めていく中で、日常的に使用できるようなツールの作成等、個別具体的な検討をすることもできる。 <p>（2）協議テーマに係る質疑応答</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事務局から、避難行動要支援者避難支援制度や現在の個別避難計画について説明した。 ●避難所の職員にも共有しているのか？ ○共有している。 ●個別避難計画の内容について、当事者や有資格者からの意見を聞きたい。 ●知識の無い安心サポーターにとっては、有事の対応について不安に感じることが多いと感じた。支援者も安心できるような個別避難計画を検討する必要がある。 ●個別避難計画の共有については、紙媒体だけでなく、デジタル化し、有事の際に必要な情報のみを確認できるような仕組みを作ることで、正確な情報を必要時に共有することができるのではないか？ ○個別避難計画の内容については、当事者、支援者との話し合いを複数回行い決定している。掲載する内容や情報量について検討することができる。 <p>【結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安心部会の協議テーマとして、「個別避難計画のあり方」について検討することを決定した。 ・現在の個別避難計画の内容を見直し、多様化するニーズに対応できる項目や情報量を検討する。
その他	○次回は令和7年12月9日（火）午後1時30分から第4回安心部会を総合福祉センター「絆」ボランティア室2にて開催予定。